

子ども・子育て支援サービスの見込量と確保方策

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

各事業の量の見込みと確保方策について、表の左には第2期計画の計画値（令和4年度から令和6年度は中間年の見直しの計画値）及び実績値（令和6年度は推計値）、右には第3期計画の推計値（ニーズ調査から保護者の利用意向をもとに算出したもの）及び見込値を記載しています。

1 地域子育て支援拠点事業

【提供区域：全域】

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値に対して多くの推計値（ニーズ）が見込まれており、供給過多とならないよう利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

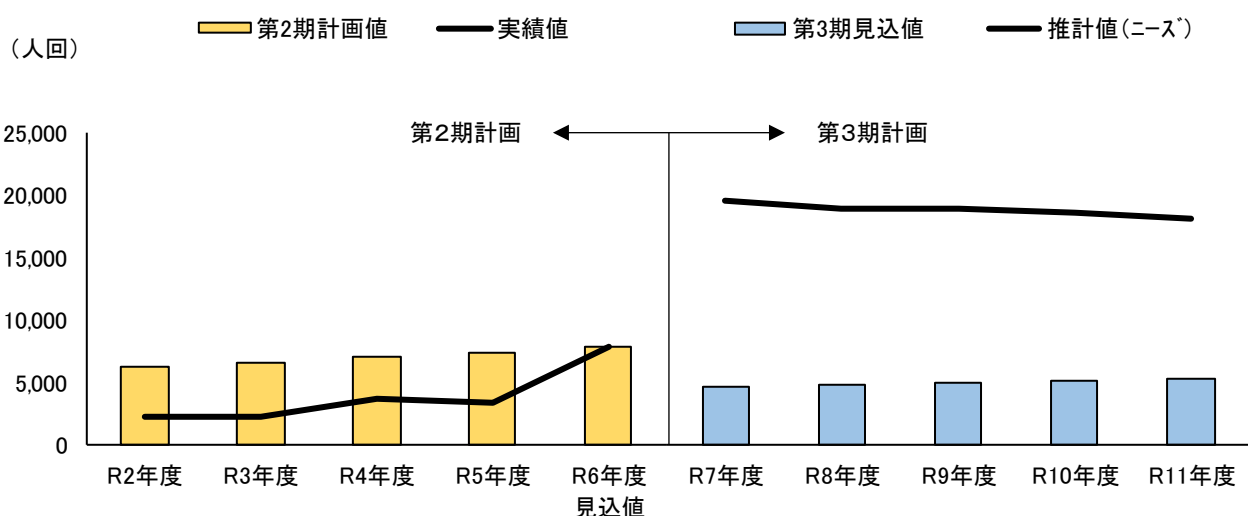
なお、令和7年度に認定こども園が1園増えることを見込んでいます。

■量の見込みと確保方策

（単位：人回）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実績値	2,252	2,267	3,607	3,410	7,833	推計値（ニーズ）	19,515	18,959	18,993	18,555	18,151
第2期計画値	6,213	6,583	6,976	7,392	7,833	第3期見込値	4,602	4,772	4,941	5,111	5,281
供給確保（か所）	3	4	5	4	4	確保方策（か所）	5	5	5	5	5

見込値：令和2年度から令和5年度までの利用者数の増加を踏まえ、1か所あたりの利用者数を算出するとともに、実施か所数の増加を見込み算出



2 子育て短期支援事業

【提供区域：全域】

保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業です。

現在、事業は未実施となっていますが、多くの推計値（ニーズ）が見込まれており、適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

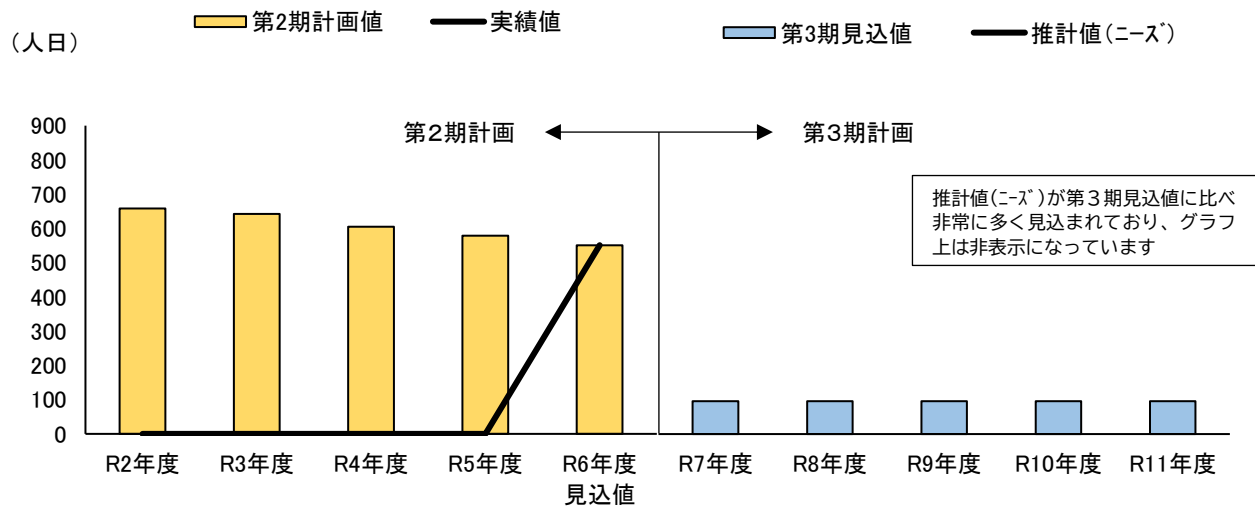
なお、第3期計画においては、実施可能な児童福祉施設が1施設整備されたことにより、令和7年度からの実施を見込んでいます。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実績値	0	0	0	0	551	推計値（ニーズ）	4,502	4,346	4,197	4,088	3,986
第2期計画値	658	642	605	579	551	第3期見込値	119	119	119	119	119
供給確保（か所）	0	0	0	0	1	確保方策（か所）	1	1	1	1	1

見込値：令和6年度は未実施だが、近隣市の実績等を踏まえ算出



3 ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）

【提供区域：全域】

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と、当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

令和4年度までは民間委託、令和5年度から市直営で事業を実施しています。

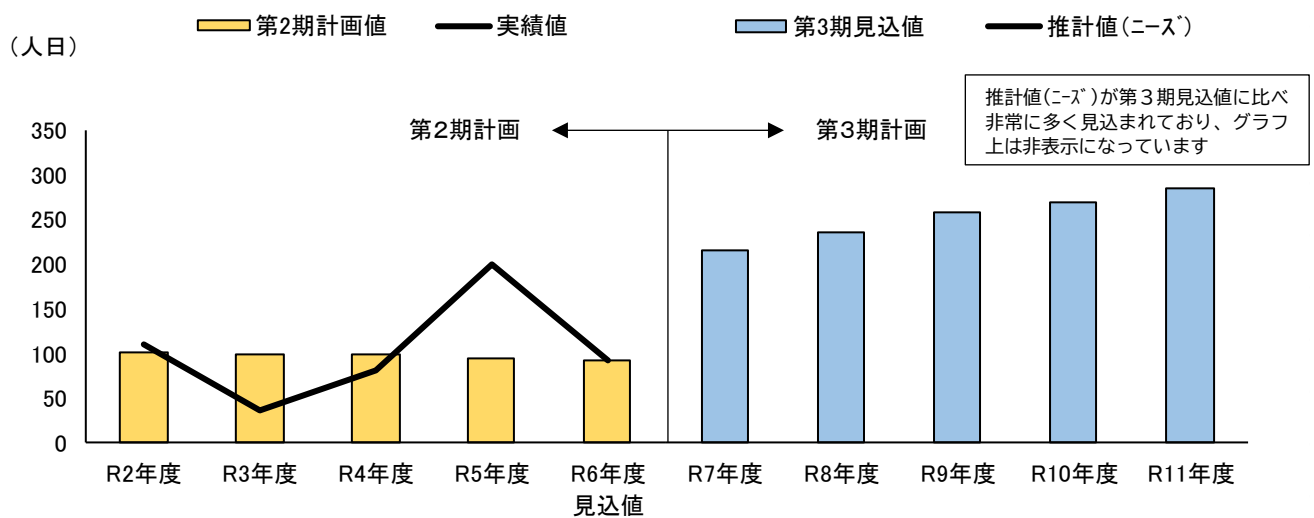
実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値に対して多くの推計値（ニーズ）が見込まれており、利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実績値	111	36	80	200	91	推計値（ニーズ）	6,574	6,314	6,133	5,820	5,584
第2期計画値	102	99	98	94	91	第3期見込値	215	235	258	270	284
供給確保（か所）	1	1	1	1	1	確保方策（か所）	1	1	1	1	1

見込量：令和2年度に比べ令和5年度の実績値は増加しており、利用率の増加を踏まえ算出



4 一時預かり事業

【提供区域：全域】

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所で一時的に預かる事業です。

(1) 幼稚園在園児を対象とした一時預かり

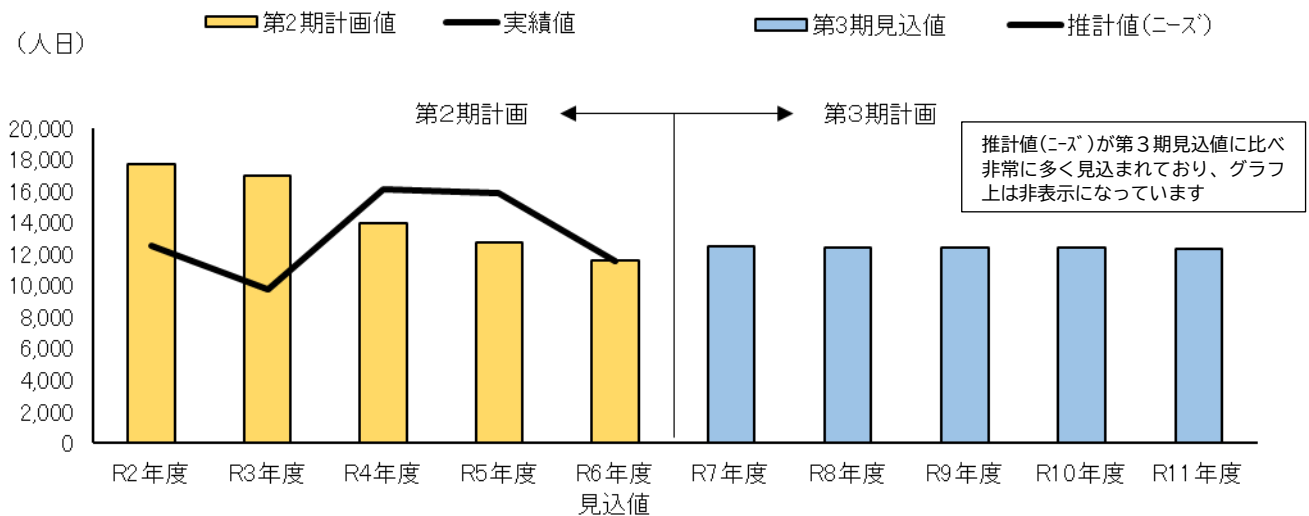
実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値に対して多くの推計値（ニーズ）が見込まれており、利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実績値	12,524	9,808	16,092	15,891	11,592	推計値（ニーズ）	36,780	36,358	33,492	32,255	30,883
第2期計画値	17,693	17,011	13,998	12,738	11,592	第3期見込値	15,142	15,115	15,087	15,059	15,031
供給確保（か所）	5	6	7	7	7	確保方策	7	7	7	7	7

見込量：実施か所あたりの利用者数の増加を踏まえ算出



(2) その他の一時預かり

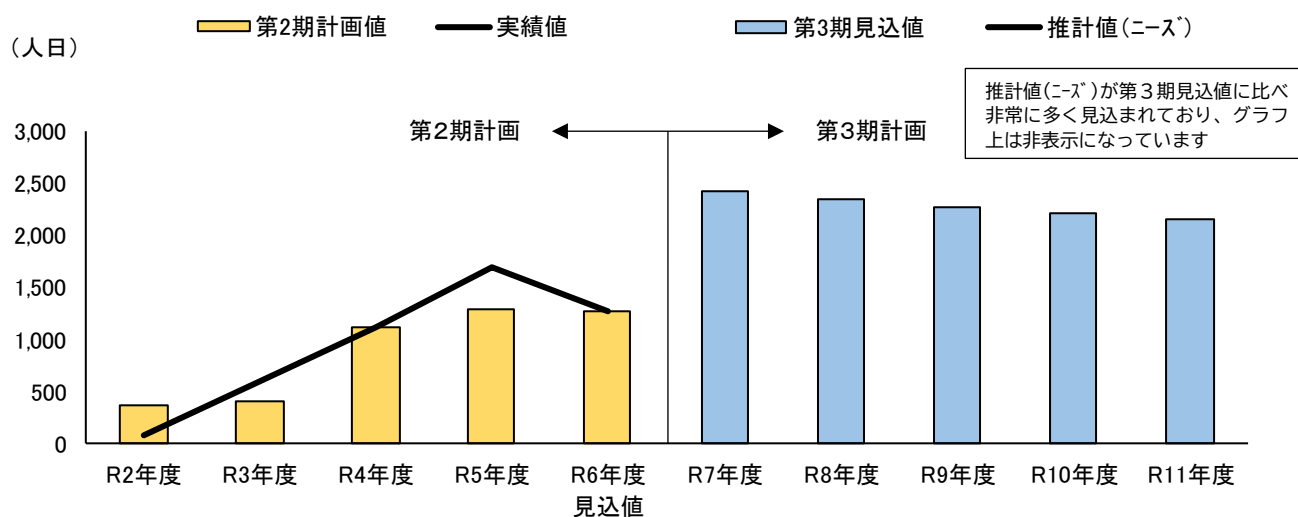
実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値に対して多くの推計値（ニーズ）が見込まれており、利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実績値	80	592	1,117	1,697	1,266	推計値（ニーズ）	18,272	17,656	17,164	16,723	16,313
第2期計画値	357	396	1,122	1,281	1,266	第3期見込値	2,429	2,344	2,263	2,204	2,148
供給確保（か所）	5	6	7	7	7	確保方策（か所）	7	7	7	7	7

見込量：推計値（ニーズ）から、定期的な教育・保育の利用者を除いて算出



5 延長保育事業

【提供区域：全域】

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、保育所、認定こども園等で保育を実施する事業です。

実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値に対して少ない推計値（ニーズ）が見込まれており、利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

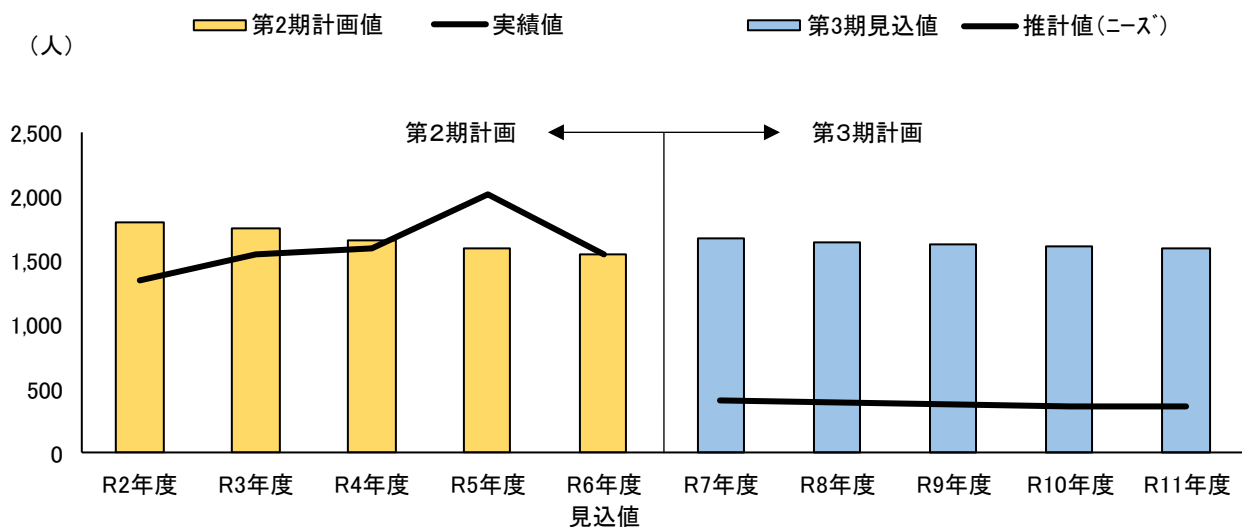
なお、令和7年度に幼稚園から認定こども園への移行を1園見込んでいます。

■量の見込みと確保方策

（単位：人）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実績値	1,355	1,554	1,607	2,027	1,548	推計値（ニーズ）	412	398	384	374	365
第2期計画値	1,798	1,753	1,661	1,605	1,548	第3期見込値	1,681	1,653	1,626	1,614	1,605
供給確保	13	12	12	12	12	確保方策	13	13	13	13	13

見込量：2号認定と3号認定における利用児童数と見込児童数を踏まえ算出



6 病児保育事業

【提供区域：全域】

病児について、医療機関・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を実施する事業です。

現在、白子町の小児科医院において、病児・病後児保育を実施しています。

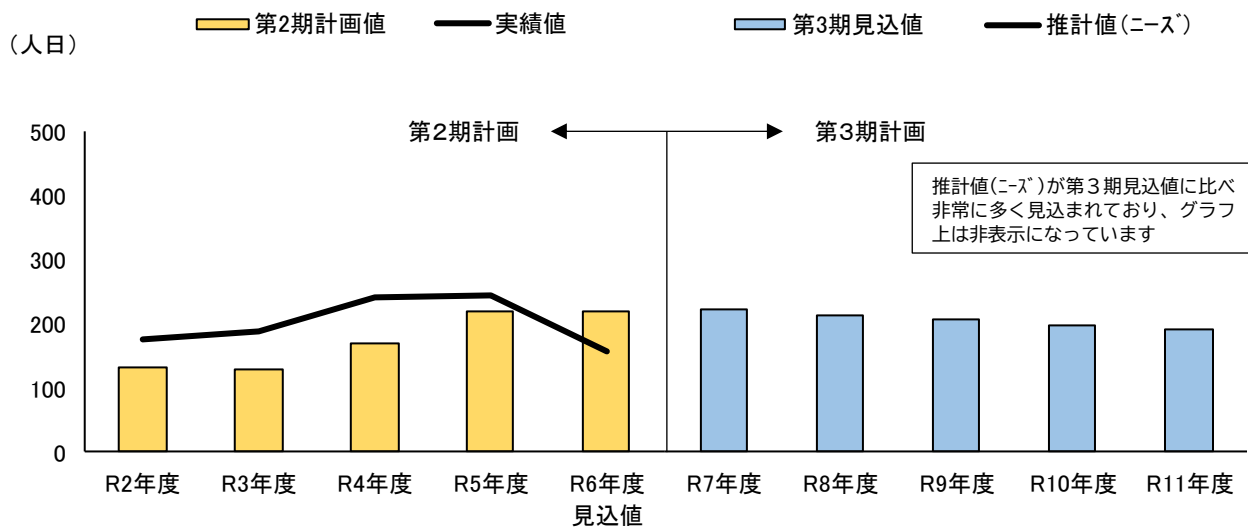
実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値に対して多くの推計値（ニーズ）が見込まれており、利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実績値	175	188	242	244	158	推計値（ニーズ）	17,082	16,460	15,967	15,370	14,899
第2期計画値	133	128	171	220	220	第3期見込値	222	214	208	199	192
供給確保	1	1	1	1	1	確保方策	1	1	1	1	1

見込量：新型コロナウイルスが「5類感染症」へ移行した令和5年度の利用率を0～11歳人口に乗じて算出



■参考

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
0-11歳人口(実績)	6,994	6,757	6,582	6,391	6,082	0-11歳人口(推計)	5,851	5,632	5,477	5,238	5,061
利用率	2.5%	2.8%	3.7%	3.8%	2.6%	利用率(推計)	3.8%	3.8%	3.8%	3.8%	3.8%

7 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

【提供区域：全域】

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。

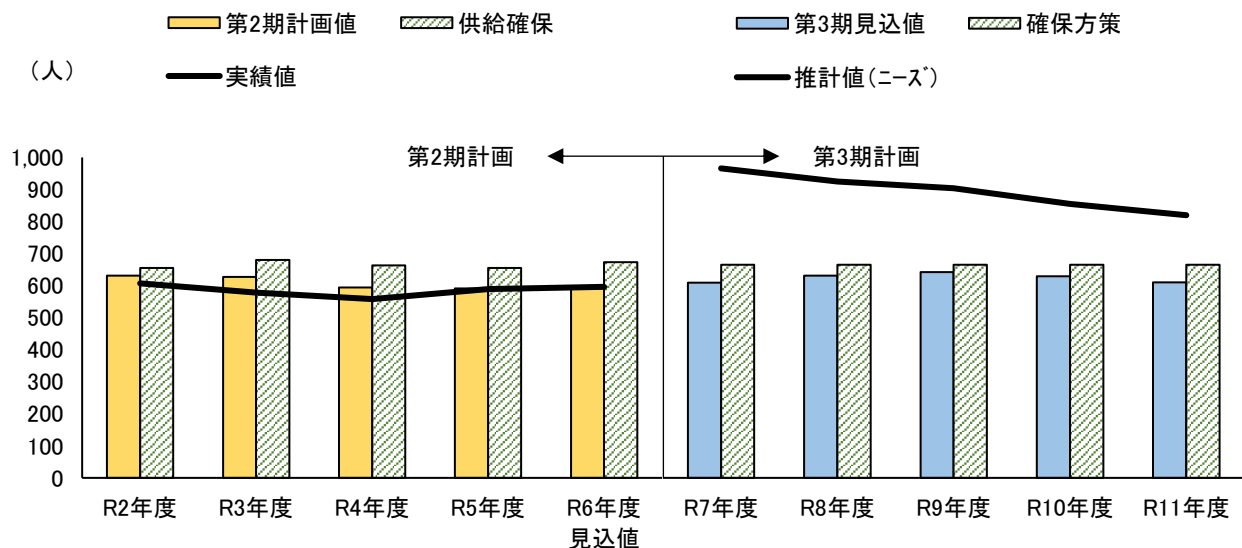
実績値と推計値（ニーズ）の差を見ると、実績値に対して多くの推計値（ニーズ）が見込まれており、供給過多とならないよう利用実績を考慮した適正な見込値の設定と確保方策の検討が必要です。

■量の見込みと確保方策

（単位：人）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実績値	607	578	558	589	596	推計値（ニーズ）	966	925	904	855	820
第2期計画値	631	627	594	591	596	第3期見込値	609	632	642	629	610
供給確保	655	680	663	655	673	確保方策	665	665	665	665	665

見込量：1年生の見込値は国の手引きに基づき算出し、2年生以降は学年が上がった際の実績の逓減率（令和2年度～令和5年度の平均）を踏まえ算出



■利用児童の実績値及び推計値（ニーズ）

（単位：人）

《実績値》	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値	《推計値（ニーズ）》	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
低学年	474	460	451	471	494	低学年	567	541	519	501	480
高学年	133	118	107	118	102	高学年	399	383	384	354	340
1年生	183	168	167	197	195	1年生	200	202	195	183	178
2年生	172	167	142	173	171	2年生	225	198	200	193	181
3年生	119	125	142	101	128	3年生	142	141	125	126	121
4年生	74	56	59	83	28	4年生	139	123	122	108	109
5年生	43	40	34	21	42	5年生	121	138	123	122	108
6年生	16	22	14	14	32	6年生	139	122	139	124	123
全体	607	578	558	589	596	全体	966	925	904	855	820

■第3期見込値と確保方策

（単位：人）

《第3期見込値》	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	《確保方策》	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
1年生	200	202	195	183	178	1年生	219	219	219	219	219
2年生	182	186	188	181	170	2年生	198	198	198	198	198
3年生	130	139	142	143	138	3年生	142	142	142	142	142
4年生	65	66	71	72	73	4年生	71	71	71	71	71
5年生	14	33	33	35	36	5年生	15	15	15	15	15
6年生	18	6	14	14	15	6年生	19	19	19	19	19
全体	609	632	642	629	610	全体	665	665	665	665	665

8 利用者支援事業

【提供区域：全域】

子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じて相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

現在、子育て支援サービスの利用についての相談は、子育て支援課や保健センター窓口で受けています。第3期計画においては、令和6年度からこども家庭センターを設置したことにより、基本型、母子保健型から、こども家庭センター型に移行します。

■量の見込みと確保方策

【基本型】

(単位：か所)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実績値	1	1	1	1	1	推計値(ノース)					
第2期計画値	1	1	1	1	1	第3期見込値	0	0	0	0	0
供給確保	1	1	1	1	1	確保方策	0	0	0	0	0

【母子保健型】

(単位：か所)

【こども家庭センター型】

(単位：か所)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実績値	1	1	1	1	1	推計値(ノース)					
第2期計画値	1	1	1	1	1	第3期見込値	1	1	1	1	1
供給確保	1	1	1	1	1	確保方策	1	1	1	1	1

9 妊婦健康診査

【提供区域：全域】

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実績値	5,289	4,947	4,864	4,481	5,810	推計値(コース [*])					
第2期計画値	6,496	6,328	6,160	5,936	5,810	第3期見込値	5,320	5,194	5,054	4,956	4,858
供給確保	5,289	4,947	4,864	4,481	5,810	確保方策	5,320	5,194	5,054	4,956	4,858

■参考

(単位：人)

	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
出生数(推計)	380	371	361	354	347

見込量：出生数の推計に受診回数上限の14回を乗じて算出

10 乳児家庭全戸訪問（赤ちゃん訪問事業）

【提供区域：全域】

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。

■量の見込みと確保方策

(単位：家庭)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実績値	445	403	408	385	415	推計値(コース [*])					
第2期計画値	464	452	440	424	415	第3期見込値	380	371	361	354	347
供給確保	445	403	408	385	415	確保方策	380	371	361	354	347

■参考

(単位：人)

	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
出生数(推計)	380	371	361	354	347

見込量：0歳児全員

11 養育支援訪問事業

【提供区域：全域】

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業です。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 見込値		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実績値	15	10	13	15	30	推計値(コース)					
第2期計画値	22	25	27	28	30	第3期見込値	15	15	15	15	15
供給確保	15	10	13	15	30	確保方策	15	15	15	15	15

見込量：令和2年度から令和5年度までの最大値を基に算出

12 実費徴収に係る補足給付を行う事業

【提供区域：全域】

保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成する事業です。

13 多様な事業者の参入促進・能力活用事業

【提供区域：全域】

多様な事業者の新規参入を支援するほか、特別な支援が必要な子どもを受け入れる認定こども園の設置者に対して、必要な費用の一部を補助する事業です。